

【模範解答】

高度医療とそのコスト負担のあり方について、私は大きく 2 つの意見を持っている。

1 つ目は、命を守るための高度医療については、積極的に保険対象内とさせ、より多くの人が享受できるようにすべきという意見だ。国の社会保障関連費は財政をひっ迫しており、高度医療に対しこれ以上の支出は見込めない。そうすると、高度医療を用いる 1 人の患者のため、国民全体が犠牲となり税や保険料の増額を覚悟しなければならないのだが、私はこれで良いと考えている。なぜなら、高度医療と言えど実際に使用されなければ価値が弱まるであろうし、医療・福祉の根底にあるのが相互扶助の精神であるからだ。日医総研が論文で述べているように、この問題には“全員野球”の姿勢で取り組まねばならないだろう。

2 つ目は、現段階で削減できる医療費については、見直す努力をすべきという意見だ。自己負担割合が低いこと、地域コミュニティとのつながりが希薄化したことにより、高齢者の軽症状受診が問題となっているが、これは医師や国・地方公共団体等が協力することによって改善が見込めるであろう。また、医師が適切な知識と技術を身に付け、患者さんへの余分な検査・投薬等を控えることで医療費の総額を抑えることができるため、医師が自己研鑽を積み続けることも大切だ。

人の命に軽重はない。国民全体がこの問題を議論し、誰もが高度医療の恩恵を享受できる社会へ一歩ずつ近づいていくことが肝要だ。

(600字)

